

## 令和元年度 長野県支部の定期総会・研修会の開催について

元号が改まった令和時代の初回の長野県支部定期総会並びに研修会が、7月21日（日）に千曲市の信州・戸倉上山田温泉「玉の湯」で開催されました。今回も公務ご多忙中にもかかわらず、大学から浅利昌男学長、本部同窓会から福山守会長にご臨席を賜りました。定期総会には会員32名が出席し、小林文範（S47年卒業）支部長の挨拶に始まり、ご来賓からのご祝辞に続き、長田宣夫（S56年卒業）議長の進行により、本年度の事業・収支予算案のほか、本学に勤務する本学を卒業した県内出身者を準会員とする会則の一部改正などの議案が満場一致で承認されました。また、役員の変更においては小林文範（S47年卒業）支部長の留任と新副支部長に中山崇（S46年卒業）、井出幸男（S48年卒業）が選任されました。

総会に続く研修会は、本県ご出身の本学生命・環境科学部准教授の荻原喜久美先生に講師をお願いし、古くて新しい「牛のプロプラズマ病」の貴重な研究結果や最新情報についてご講演をいただきました。

総会、研修会終了後の懇親会には浅利学長、福山会長、荻原准教授にもご参加いただき、盛大に開催されました。やはり最後は全員で校歌や寮歌を大声で歌い上げお開きになりました。その後も浅利学長、荻原准教授を囲んで二次会に移行しカラオケ大会で盛り上がり、思い出に残る楽しいひとときを過ごすことが出来ました。

最後になりますが、浅利学長、福山会長におかれましては、今回も本県会員のために駆けつけて頂き、誠にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

長野県支部事務局 平沢久史

